

さくら学級 理科 学習指導案

日 時 2025年7月2日（水）
第5校時 13:30～14:20
対象 さくら学級 25名
会場 第2理科室

1 単元名

生き物のすごいところをたくさん発見し、紹介しあおう

2 単元の目標

- 生命や地球の誕生について理解する。
- 動物や植物の違いについて、細胞の構造から理解する。
- 発表用のプレゼンテーションを作成し、相手にわかりやすく伝えられるようにする。
- 発表後に調べ活動を行い、学び続ける姿勢を身に付ける。

3 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
<p>① 地球の誕生や生命の誕生について、その過程や進化の様子に関する基本的な概念について理解している。</p> <p>② わかりやすい紹介スライドの作成方法や発表方法を身に付け、興味が湧くような内容になるように工夫している。</p>	<p>① 動物や植物においての共通点や相違点を見出すとともに、生物それぞれの生活場所の違い等から、生物が過ごす適した環境について科学的に探究している。</p>	<p>① 発表に対して感想を伝えたり、質問や疑問を投げかけることにより、発表者に対して新たな課題提示をしている。</p> <p>② 自分の学習や他の生徒とのかかわりを通して、様々な生物の生きる工夫について科学的に探究しようとする態度をもち、発表を通して生じた新たに課題に対して、意欲的に課題解決しようとしている。</p>

4 単元指導計画（全8時扱い）

時	目標	学習方法・学習活動	評価
1	地球や生命の誕生について理解する。	連合宿泊学習の事前学習と関連付け、地球や生命の誕生について学習する。	ア-①【ワークシート】
2	動物や植物の細胞の特徴とそのはたらきを知る。	身近な生物に関するクイズを、ICTを用いて行う。	イ-①【ワークシート】
3～6	わかりやすいスライドの工夫を理解したのちに、スライドを作成する。 	「すごい生き物」の紹介スライドを作成する。スライドは、お手本スライドを活用してもよいが、オリジナルでもよい。各自で選択できるようにする。発表原稿は、お手本の穴埋め式かオリジナルで作成するか選択させる。	ア-②【作成するスライド】
7 本時	私が考える「すごい生き物」を、わかりやすく班	作成したスライドの発表を行う。班員はクイズに解答したり質問をしたりし	ア-②【作成するスライド】 ウ-①【ワークシート】

	員にプレゼンする。	て、発表者の学びを深める手助けをする。	
8 	プレゼンを経て、出た質問への答えやさらなる学びを深める。	発表で出た質問の答えを調べる。また、発表を経て加えたいスライドの訂正や調べ学習を行う。	ワー②【ワークシート】

5 生徒が主体的に学び続けるための工夫（協働的な学び）

・意図的な発表活動の設定

4人という小さなグループにすることで、大人数では話しにくい生徒でも安心して発表できる環境をつくる。自分の意見や調べた内容が受け止められやすくなり、「もっと調べたい」「もう少し詳しく話したい」という気持ちにつながる。

・発表に対して質問や疑問を述べさせ、発表後のさらなる探求学習へつなげる。

質問づくりの支援を行い、他者と学び合う姿勢を育てる。質問をした生徒には質問した回数が可視化できるようにシールを貼り、生徒の質問意欲をかきたてる。

・教員がグループに1名付き、発表者や質問者の補助を行う。

生徒の活動が円滑に進むように、教員をグループに1名配置する。発表者が達成感を得られるように相槌を多く打ったり、質問者が正しく質問が行えるように視点を与えて役割を担う。

6 本時の指導（全8時間中の7時間目）

（1）本時の目標

- 自分が思う「すごい生き物」をわかりやすくプレゼンする。
- 発表者のプレゼンに質問や疑問、感想を伝えることで、発表者の更なる課題発見と探求活動につなげる。

（2）本時の展開

	○学習活動 ○主体的に学び続けるための視点	□指導上の留意点 ◆評価
導入 (5)	○これまでの学習の振り返りを行う。	□自分が思う「すごい生き物」を発表をするときのポイントをおさらいする。
展開 (35)	○「すごい生き物」の発表をする。 <ul style="list-style-type: none"> ①発表 ②質問や感想 ③評価シート記入 この流れを繰り返していく。目安としては①～③を1人7分程度で行う。 発表の中にクイズを入れ、クイズに正解できた人にはシールを渡す。また、発表に対して質問や感想を伝えられた生徒にもシールを渡す。 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;">  ○四人班という小規模での発表や意見交換の場とすることで、初めての発表でもあまりプレッシャーを感じず、意見を述べやすい雰囲気をつくる。 ○シールを配布することで、発表を意欲的に聞き、発表者の学びを深めさせるための質問等をする機会を増やす。 </div>	□質問や感想が伝えられるように、しっかり発表を聞くように伝える。 □発表のサポートや質問の書き取り、質疑応答に関してうまく流れが作れていないグループに関しては、T2の教員や支援員がファシリテーターとして支援を行う。

	○班員全員の発表が終わった後、スライドを作った中で困った点や、工夫をした点について情報共有する。	
まとめ (10)	○本時の学習のまとめ・振り返りを行う。 ○次時の予告をする。	◆ウー①【ワークシート】 □次時は、発表会で生じた疑問やさらに探究すべき内容について、調べ学習を行うことを伝える。